



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5820

いいかぶ 検索

 空メールにより URL 自動返信 kabu@wjw.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からも アクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



(1809)



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザイン
の文字を採用しています。



2020 Business Report

第75期報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

証券コード 5820



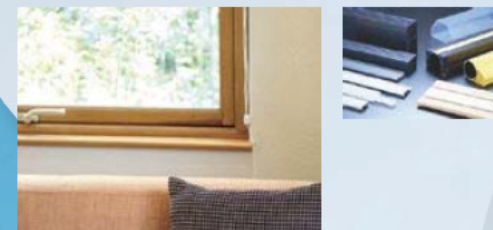
企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

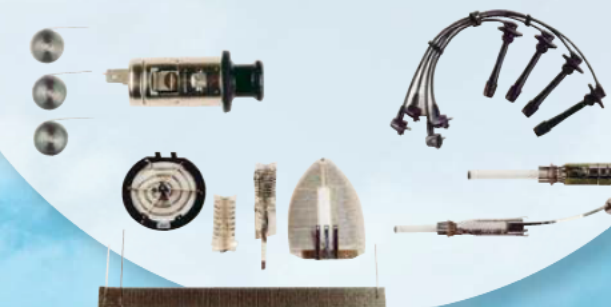
ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、さらなる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客様から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからは製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第75期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 競 良一



Q 事業の概況を教えてください

A 当連結会計年度におけるわが国経済は、各種政策効果もあり、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調が続いておりましたが、米中貿易摩擦や海外の政治情勢の不安定化に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、先行きは内外経済においてどこまで下振れするのか見通せない状況となっております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資や公共投資は底堅く推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、工事着工の遅れ等の影響が出ております。また、住宅建設におきましても弱含んで推移しており、当社にとっては厳しい環境となりました。

このような状況の中、当社グループの売上高は、主原材料である銅価格が前年より6.8%下落したことや、主力先への販売が伸び悩んだこともあり、前年同期より減少となりました。

営業利益につきましては、国内子会社の工場移転に係る費用の発生や海外子会社の新工場での費用増加の影響で前年同期より減少しました。

経常利益につきましては、為替差益の増加等の影響もありましたが、上記理由で前年同期より減少しました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、国内子会社における固定資産売却益や投資有価証券売却益の計上がありました。また、上記理由で前年同期より減少しました。

その結果、当連結会計年度における売上高は8,522百万円(前年同期比7.0%減)、営業利益は201百万円(前年同期比28.6%減)、経常利益は216百万円(前年同期比27.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は184百万円(前年同期比69.9%減)となりました。

Q 対処すべき課題を教えてください

A 今後のわが国経済の見通しにつきましては、昨年の消費税引き上げに加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、国内経済の低迷のみならず、世界経済まで深刻な影響が波及したことにより、不透明な状況となっております。

電線事業につきましては、緊急事態宣言が解除された後もお客様によっては自粛した動きが予測されます。下期以降は徐々に経済が回復して来ると見込まれ、都市開発、リニア中央新幹線などの公共工事が、本格的に稼働すると思われます。また、現在、新製品などを開発しており、新分野への参入をスピードを上げて計画しております。さらに銅の当用買い、ゴム、ビニールなどの材料コストを見直すことで、ロスなどを徹底的に排除し、原価低減を行うとともに、適正価格での販売により収益に繋げてまいります。

このような状況を踏まえ、技術開発センターには、耐候性の評価を短時間で出来るオゾンウェザーメーターなどの試験機を導入することで、災害防災などの製品開発や海洋土木、漁業関連などの水回り製品の開発などに取り組んでまいります。

ポリマテック事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当事業に関連の深い新設住宅着工件数も約80万戸を割り込むと予測されます。

このような状況を踏まえ、活気のある業種、企業に集中的に訪問し、拡販案件の獲得、住宅関連以外の新規顧客開拓の取り組みの速度を上げて売上高を確保するとともに、原油価格(ナ

フサ価格)の下落を反映した適正価格での購入、材料ロスの削減等の原価低減を徹底し、利益確保に努めてまいります。

また自社製品に関しては高付加価値材料を使用した抗菌、抗ウイルス等環境対策関連の開発を進めてまいります。

電熱線事業につきましては、当事業に関連の深い産業機器分野は、長期的には今後も人手不足等を背景とした自動化・省力化投資により底堅い推移が見込まれる分野です。自動車関連市場においてもEV化や自動運転等の技術革新の進展や動向に期待が持てる分野です。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により全世界の経済が大きく後退し、収束時期が全く見えない中、両分野とも大変厳しい状況が続くと思われ、当事業も厳しい受注環境が続くと予測されます。

このような状況を踏まえ、さらなるコスト削減および生産性向上、原価低減と適正価格の販売に努めてまいります。また、各分野、各企業においては、リスク分散、BCPの観点からサプライチェーンの見直しを行うことが予測されます。情報収集を密にし、新規開拓の機会とするとともに、産業機器分野、自動車関連分野のさらなる開拓、海外市場の開拓、取扱鋼種の拡大に引き続き注力し、業績の向上に努めてまいります。

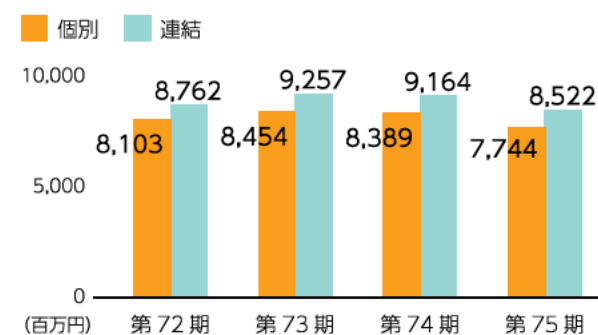
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

財務ハイライト

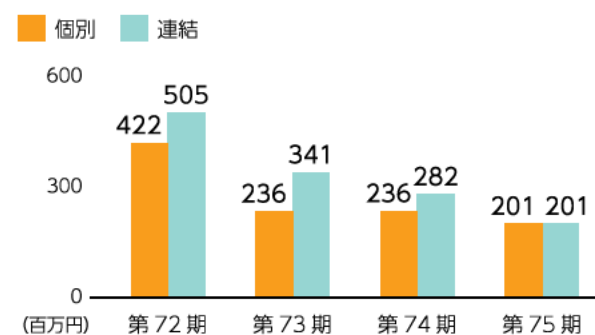
Financial Highlights

売上高



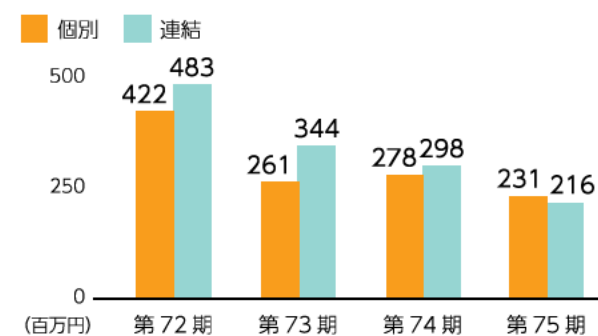
グループ全体で減収となったため、前年同期に比べ減収となりました。

営業利益



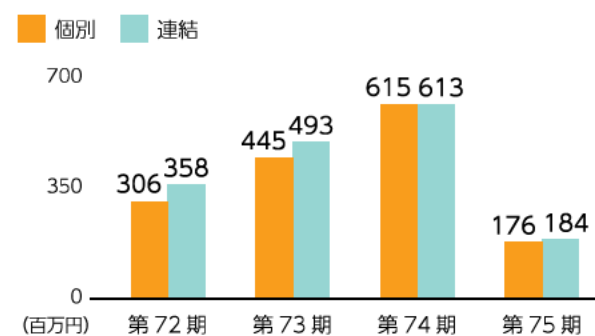
ポリマテック事業で増益となりましたが、電線事業および電熱線事業で減益となったため、グループ全体では前年同期に比べ減益となりました。

経常利益



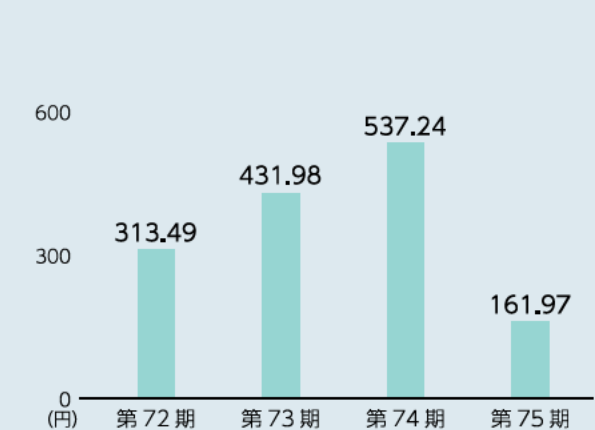
為替差益の増加等の影響もありましたが、国内子会社の工場移転に係る費用の発生や海外子会社の新工場での費用増加の影響により前年同期に比べ減益となりました。

当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益



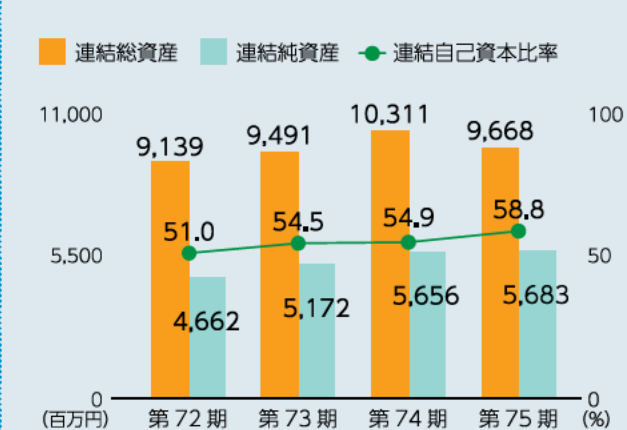
国内子会社における固定資産売却益や投資有価証券売却益の計上がありましたが、経常利益の減益により、前年同期に比べ減益となりました。

連結1株当たり当期純利益

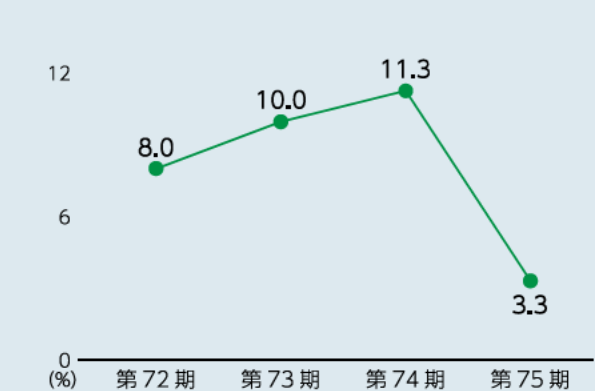


当社は、2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。第72期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、連結1株当たり当期純利益を算出しております。

連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率



連結株主資本利益率 (ROE)



連結株価収益率 (PER)



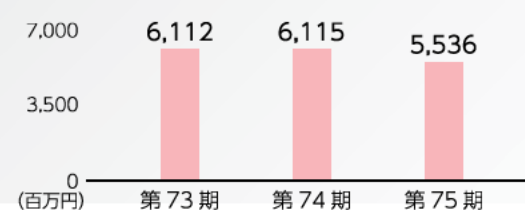
事業別の概況

Segment Information

電線事業



売上高の推移



商品紹介

業界トップシェアを誇る[キャブタイヤケーブル]
600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャブタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャブタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

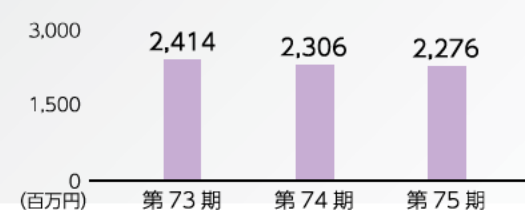
当期の活動報告

当事業の主要な市場である建設・電販向けは、東京オリンピック・パラリンピックの投資の終息や、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、出荷量は減少しました。また、銅価格が急落し、販売価格が下がった結果、売上高は5,536百万円となりました。利益面につきましては、生産調整による滋賀工場の一時帰休や海外子会社の新工場(ゴム電線製造ラインなど)の費用が増加したことが影響し、営業利益は128百万円となりました。

ポリマテック事業



売上高の推移



商品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場
住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

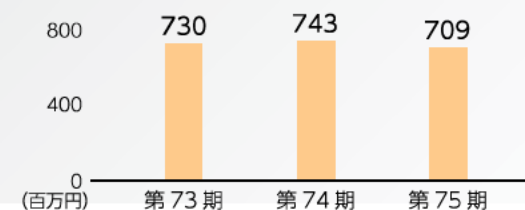
当期の活動報告

当事業では、既存製品の販売増加と既存先の拡販製品の獲得、第71期以降に獲得した顧客の売上が増加しましたが、当事業に関連性のある新設住宅着工件数が前年比約6.0%減少した影響と新規顧客獲得が遅れた結果、全体の売上高は2,276百万円となりました。利益面につきましては、材料、副資材、運賃の値上げに伴う価格改定、生産性の改善等、コスト削減に取り組んだ結果、営業利益は66百万円となりました。

電熱線事業



売上高の推移



商品紹介

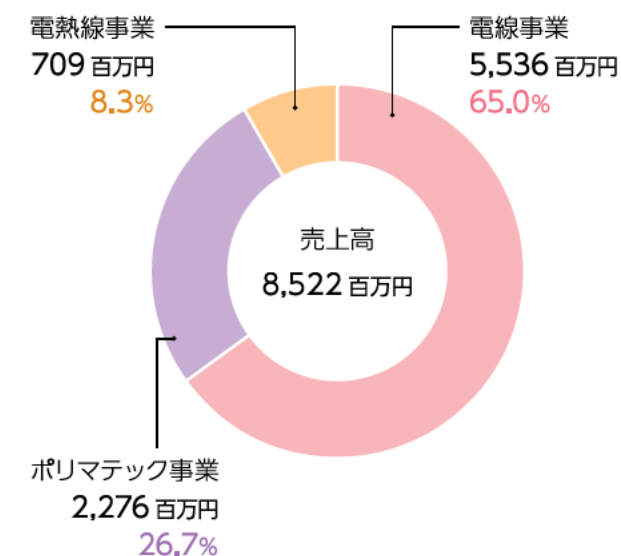
伸線・圧延技術力を活用した事業展開

どこの家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品のほか、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

当期の活動報告

当事業では、抵抗器用途や中国食品炉向けヒーター用途などでの新規開拓を行いました。中国の景気悪化の影響に加え、米中貿易摩擦の影響により産業機器向け販売が不調となったことや、白物家電市場においてもメーカーによる海外拠点での現地調達化が一層進んだことにより受注が減少した他、自動車販売の減少により自動車向けヒーター用途製品の受注も減少するなど厳しい状況となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により一段と厳しい状況となった結果、売上高は709百万円となりました。利益面につきましては、比較的付加価値の高い製品の産業機器向け販売が不調により減少したことや工場移転による費用の増加などにより、営業利益は6百万円となりました。

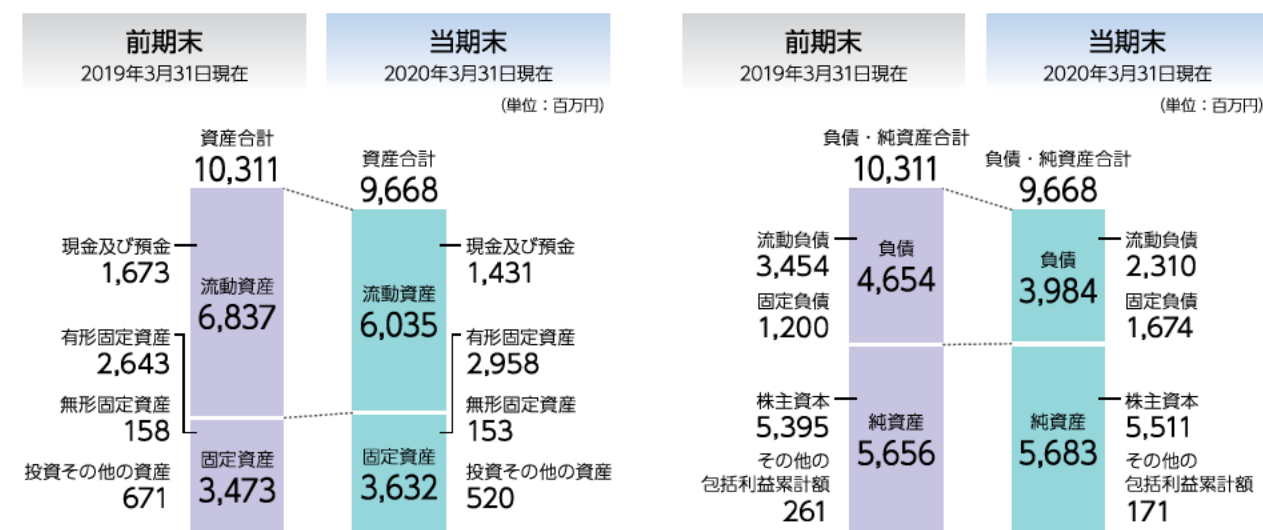
売上高構成比



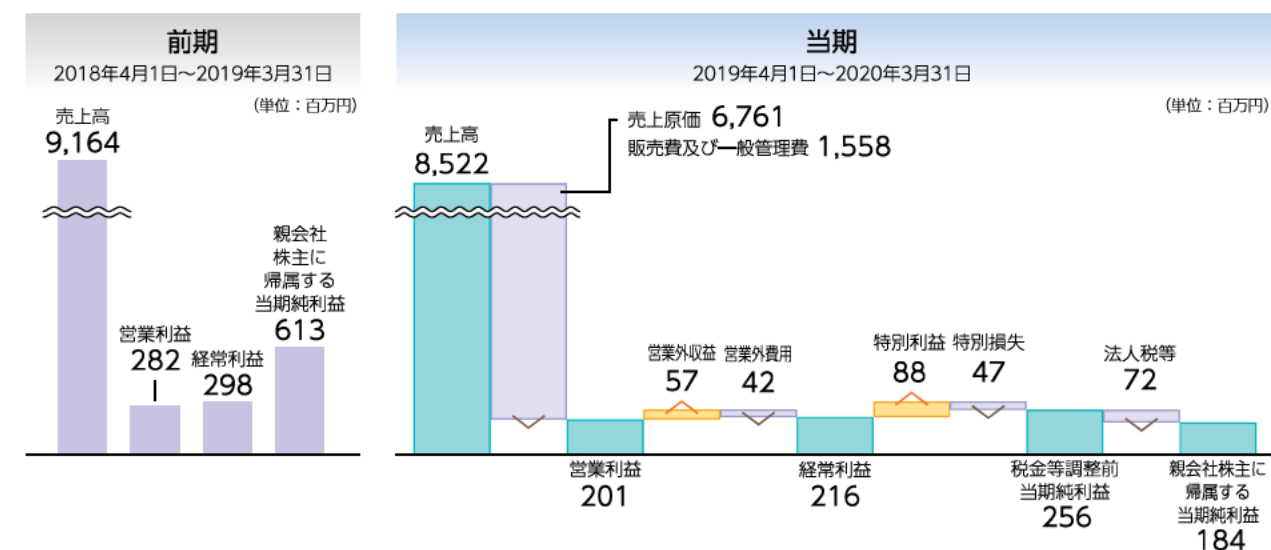
連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

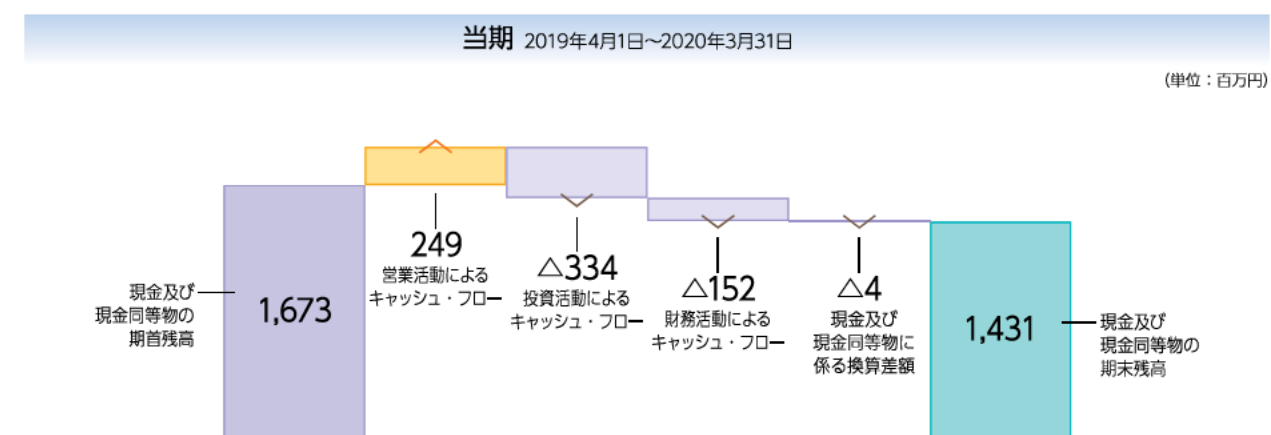
■ 連結貸借対照表



■ 連結損益計算書



■ 連結キャッシュ・フロー計算書



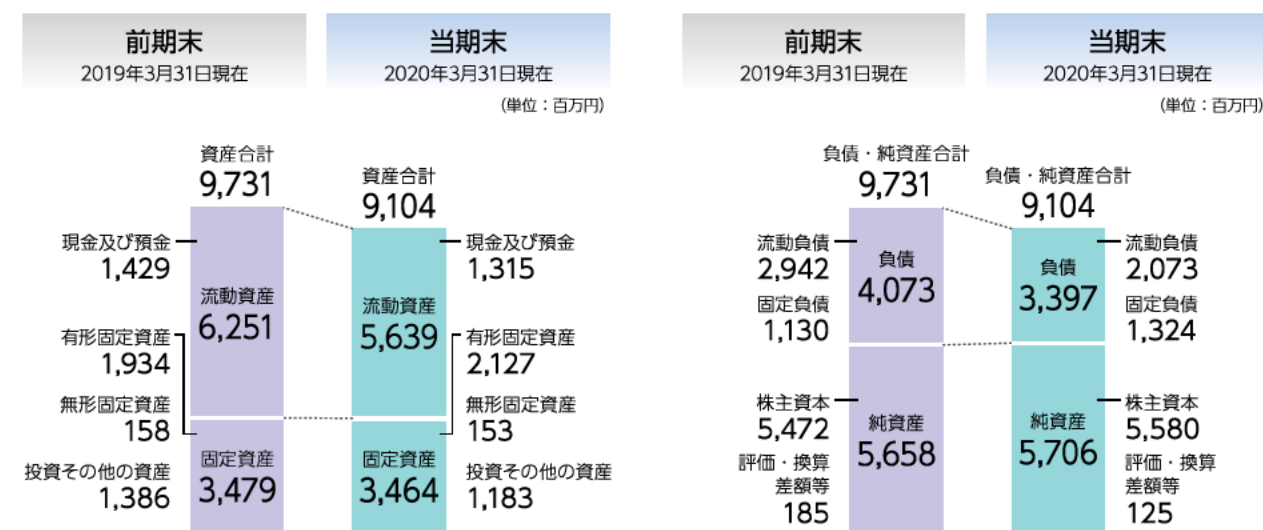
ポイント解説

- 総資産総額
前期末に比べ6億43百万円減少し、96億68百万円となりました。
これは主に、受取手形及び売掛金の減少があったことによるものです。
- 負債総額
前期末に比べ6億69百万円減少し、39億84百万円となりました。
これは主に、短期借入金の減少があったことによるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ26百万円増加し、56億83百万円となりました。
これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものです。

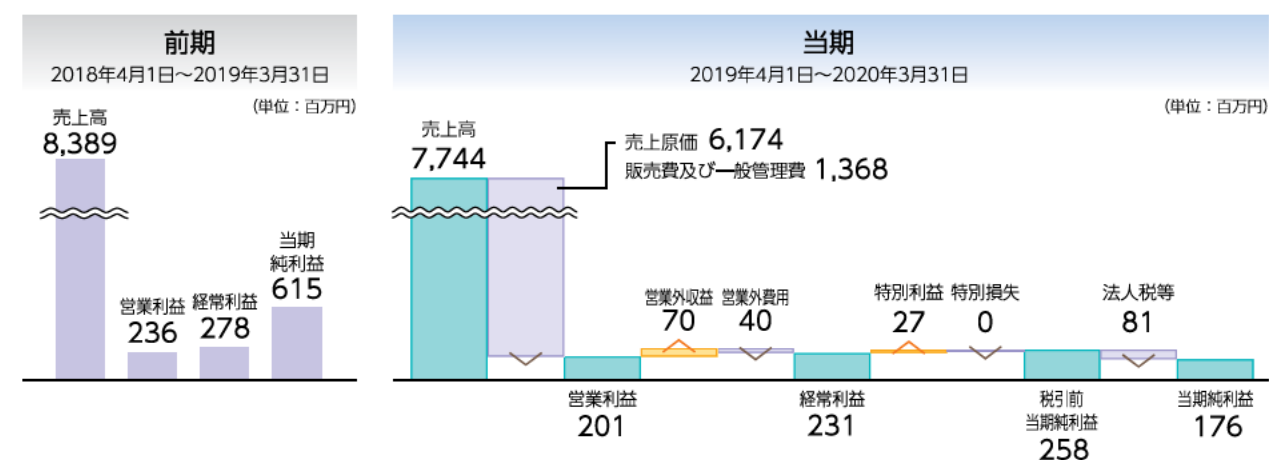
個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表



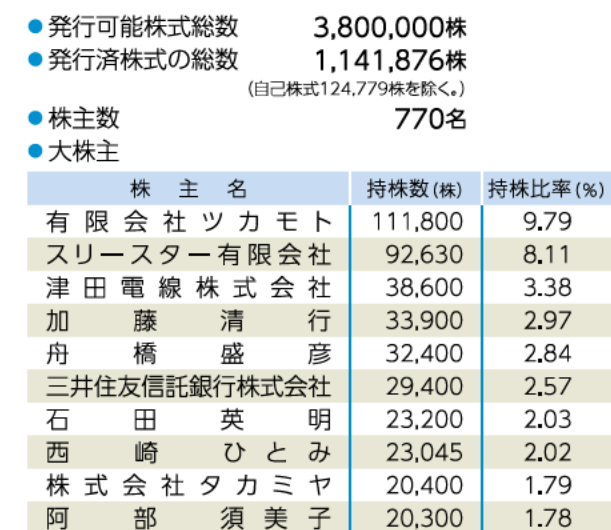
損益計算書



株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

株式の状況 (2020年3月31日現在)



(注) 1. 上記のほか、当社が自己株式124,779株を保有しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2020年6月24日現在)

代表取締役社長 競 良 一
取締役 松 山 元
取締役 前 田 康 智
取締役 小 林 明 彦 (社外)
取締役 (監査等委員) 大 林 良 寛 (社外)
取締役 (監査等委員) 中 村 健 三 (社外)

(注) 1. 取締役(監査等委員)小林明彦氏、大林良寛氏、および中村健三氏は、社外取締役であります。
2. 取締役(監査等委員)小林明彦氏、大林良寛氏および中村健三氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

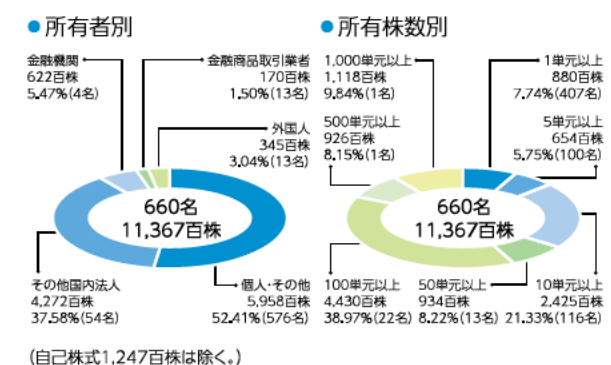
従業員の状況(当社グループ) (2020年3月31日現在)

(連結) 240名(91名)

(個別) 164名(73名)

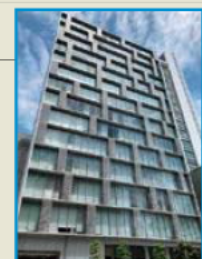
(注) 従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

株式分布状況 (単元株以上)



ネットワーク

Network



本社／大阪支店／
大阪営業所



九州営業所



羽曳野工場

MITSUBOSHI PHILIPPINES
CORPORATION



名古屋営業所



滋賀工場



東京支店／東京営業所
子会社
シルバー鋼機株式会社

主要な事業所

当社

本 社	〒541-0053 大阪市中央区本町一丁目4番8号 エスリードビル本町5階 TEL 06(6261)8881(代表)
大 阪 支 店 大 阪 営 業 所	(電線事業部) (ポリマテック事業部) 〒541-0053 大阪市中央区本町一丁目4番8号 エスリードビル本町5階 TEL 06(6261)8884(代表) TEL 06(6261)8885(代表)
(電線事業部) (ポリマテック事業部)	TEL 06(6261)8884(代表) TEL 06(6261)8885(代表)
東 京 支 店 東 京 営 業 所	(電線事業部) (ポリマテック事業部) 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号 リーラック第一ビル 6階(電線事業部) 5階(ポリマテック事業部) TEL 03(6897)8660(代表) TEL 03(6897)8663(代表)
(電線事業部) (ポリマテック事業部)	TEL 03(6897)8660(代表) TEL 03(6897)8663(代表)
九 州 営 業 所	〒815-0081 福岡市南区那の川一丁目9番19号 TEL 092(526)2615(代表)

名古屋営業所	〒465-0095 名古屋市中東区高社一丁目253番地 一社プラザ4階402号室 TEL 052(760)4636(代表)
--------	--

滋賀工場	〒520-3306 滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3 TEL 0748(86)6104(代表)
------	---

羽曳野工場	〒583-0867 大阪府羽曳野市河原城534番地 TEL 072(939)4561(代表)
-------	--

シルバー鋼機株式会社

本 社	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号 リーラック第一ビル7階 TEL 03(5651)7220(代表)
-----	---

(2019年8月26日に移転いたしました。)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国)	LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE INDUSTRIAL ESTATE BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS, CAVITE,PHILIPPINES4114
------------	--

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりです。 http://www.kk-mitsuboshi.co.jp
定時株主総会	毎年6月	上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
基準日		証券コード	5820
定時株主総会	毎年3月31日		
期末配当	毎年3月31日		
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)		
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html		

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。